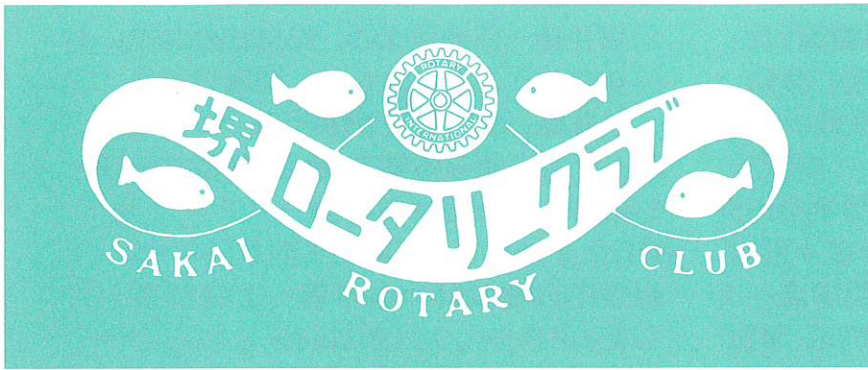


# SAKAI ROTARY CLUB WEEKLY BULLETIN



第2640地区

創立 昭和26年(1951)2月16日  
 例会日 毎週木曜日12:30  
 例会場 ホテル・アゴーラー・ジェンシー大阪堺3F  
 TEL (072) 224-1121  
 事務所 〒590-0985 堺市堺区戎島町4-45-1  
 ホテル・アゴーラー・ジェンシー大阪堺8F  
 TEL (072) 238-3250  
 FAX (072) 232-3711  
 会長 林 豊之  
 幹事 木 澤 憲一  
 会報担当 田 内 潤



**IMAGINE  
ROTARY**

**イマジン  
ロータリー**

2022-23年度国際ロータリー会長  
ジェニファー・ジョーンズ

四  
つ  
の  
テ  
ス  
ト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

<https://www.sakai-rc.jp/>

<http://www.rid2640g.com/morimoto/>

## 本日の例会

第3449回例会 (14)2022年10月20日

- 今月の皆出席のお祝い
- 例会ソング 「堺ロータリーの歌」  
「小さい秋見つけた」
- 卓 話  
「『タビ』ってご存じですか」
- スピーカー 大阪労災病院  
副院長 西野雅巳氏
- 紹介者 田内潤会員

## 前週の例会

第3448回例会 (13)2022年10月13日

- 例会ソング 「日も風も星も」  
「鉄道唱歌」
- 卓 話  
「堺市産業振興センターの取組みに  
ついて～頑張る中小企業を応援～」
- スピーカー 堺市産業振興センター  
理事長 利國信行氏



紹介者 林豊之会員  
 出席報告 会員 24名  
 ZOOM 1名  
 ゲスト 2名

## 次週の例会

第3450回例会 (15)2022年10月27日

- 卓 話  
「関西電力送配電の役割～需給調整～」
- スピーカー 関西電力送配電株  
大阪南電力本部長 川上智徳氏
- 紹介者 野地小百合会員

ゲスト 利國信行氏  
三宅 貴氏  
出席率 100% (9月15日)

## 会長の時間

- 黒川眞男会員より、米山記念奨学会へ3万円ご寄付頂きました。
- 石崎雅也会員より、米山記念奨学会へ2万円、ロータリー財団へ200ドル、堺RC基金へ1万円、それぞれご寄付頂きました。
- 今月の記念日のお祝い  
代 表 福井隆一郎会員

- 本日のゲストの方々へ来会お礼。
- 会長のお話。

## 幹事報告

- 本日の配布物
  - ・ガバナー月信 No.4 (卓上)
  - ・卓話資料 (卓上)
- 連絡事項
  - ・本日も検温、アルコール消毒、マスクの着用のご協力よろしくお願い致します。
  - ・例会の食数の参考に致しますので、次週以降で欠席がわかっている方は、出席版に黄色のシールを貼っておいて下さい。
  - 又、ホームページの会員ページから例会、各委員会等連絡事項が可能となっておりますので、ご利用お願い致します。

## ニコニコ報告

- 林豊之会長より、堺市産業振興センター理事長 利國信行様、専務理事 三宅貴様、本日はお越し頂きありがとうございます。
- 鹿毛靖会員より、結婚記念日のお祝いの花を頂きありがとうございます。妻とこれからも仲良く過ごしていこうと思います。
- 高橋明会員より、結婚記念日のお祝いありがとうございます。あと数年で金婚となります。夫婦二人、無事迎えらるよう努めます。
- 永井裕敏会員より、結婚記念日のお祝いにかわいいお花を頂き、ありがとうございました。

○福井隆一郎会員より、記念日のお祝いありがとうございます。利國信行様、三宅貴様、ようこそお越し下さいました。小生も人並みに年を重ね、後期高齢者と相成りました。

以上それぞれニコニコ箱へご寄付頂きました。ありがとうございます。

ニコニコ箱	5件	25,000円
累 計		298,000円

## 今月の皆出席

黒川 眞男会員 29年 (平成 5年入会)  
高橋 明会員 14年 (平成 20年入会)  
田内 潤会員 5年 (平成 29年入会)

## 他クラブ例会変更のお知らせ

堺おおいずみRC  
10月26日(水)の例会は29日(土)  
於：ホテル・アゴーラリージェンシー  
大阪堺 3F「例会・親睦会」  
11月2日(水)の例会は 6日(日)  
於：和歌山城ホール  
(第2640地区 地区大会)  
堺東RC  
10月25日(火)の例会は 夜間例会  
於：堺商工会議所

## 10月のロータリーレート

1ドル→145円

ご協力よろしくお願い申し上げます。  
R財団委員会より



## ハイライトよねやま

### — 米山の由来 —

今年も米山月間がやってまいりました国際ロータリー理事会が指定したロータリーの特別月間とは別に、日本独自の月間テーマとして、毎年10月は米山月間となっています。今回は改めて、その由来についてご紹介します。

1975年8月、米山梅吉翁が逝去した4月28日までの1週間を「米山週間」とすることが決定しました。ある地区ですで行われていた強化活動を全国へ広げ、米山奨学事業を促進することが目的でした。

しかし1980年度になると、米山週間は4月から10月1日～7日へと変更されました。その理由はいくつかあります。

一つには「ロータリー雑誌週間」が1978年度から4月となり重なってしまったこと。また、4月では各クラブへ送付される事業報告書などの資料数字が約1年前のものとなることや、採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼することに無理がある、交通機関のストライキが多い、など現実的な支障があったためです。そして何よりも、東京RCによる米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議や合意が行われた地区大会が、いずれも10月だったこと、これが大きな理由とされています。1983年からは週間制度が「月間」となり、10月が米山月間として定着し、今に至っています。当会の配布資料などを活用し、米山への理解促進へのご協力をお願いいたします。

### 夏のワークショップ in 浦項

8月27日、韓国米山学友会主催「夏のワークショップ in 浦項」が慶尚南道浦項市の浦項工科大学にて開催され、総勢16人が参加しました。

今回のワークショップは1泊2日の日程で、一般に立ち入ることができない大学内の放射光加速器等の研究所を訪問し、施設

内の見学をしました。同学友会のワークショップは、メンバー同士の親睦と新たな知識共有の場として、7年前から毎年2回ほど開催しています。また、同学友会では、2016年から在韓日本人留学生への奨学金支援も毎年行っています。

広報担当の金珉庭 キム ミンジョンさん(2005-06/吹田西RC)は、「韓国で



ワークショップの合間にカフェで一息

活躍している米山学友が研究、経済、情報などを共有できる学習の機会を提供するとともに、学友間の更なるコミュニケーションの場を設け、来韓した日本人留学生との密な交流を目指しています。今回は日本人留学生の参加は1人でしたが、今後は多くの日本人留学生が参加し、情報共有や相談ができ、勉学はもちろん、韓国での生活の活力になるような場にしていきたいです。私たち学友会は、さらに交流の輪を広げ、絆を深めることを第一に、さまざまな活動をしてまいります」と述べました。なお、韓国学友会は11月26日に総会を開催予定です。米山記念奨学委員会より

### 近々の行事のお知らせ

#### ★地区大会第2日目

11月6日(日)

於：ダイワロイネットホテル和歌山  
11月10日(木)の堺ロータリークラブの例会は、地区大会2日目に例会変更しておりますのでお間違いのないようお願い致します。



## 世界中で活躍する「世界を変える行動人」



### カナダ

バンクーバーのロータリアンは、ブリティッシュコロンビア州のポリオ根絶キャンペーンにスポットライトを当てるために地元の人脈を活用しました。2021年の世界ポリオデーには、BCプレイススタジアム、サイエンス・ワールドのジオデシック・ドーム、市庁舎の時計塔という三つの観光名所がライトアップされました。バンクーバー・サンライズ・ロータリークラブ会員で、市クリエーション部長を引退したロン・スズキさんは、人脈を活かして市のリーダーたちから支援を募りました。なかでもケネディ・スチュワート市長は世界ポリオデーに宣言を行いました。1970年代前半に大学生だったスズキさんは、ある病院のポリオ病棟で実習を行ったそうです。

「患者さん全員と知り合い、果敢にこの恐ろしい病気と向き合う姿に感動しました」とスズキさん。「今でも人工呼吸器の音が耳に残っています」



### 米 国

ホーンズデール高校(ペンシルベニア州)のインターアクトクラブは、ポリオ根絶について

啓発するためにパープルピンキー(紫の小指)募金キャンペーンを2月に開催しました。同クラブ会員はラジオ番組にも出演し、地元の企業に寄付を募り、学校の昼休みやバスケットボール試合で募金をしてくれた人たちの小指を紫色のインクをつけました。同クラブが1,000ドルを集めたほか、ホーンズデール・ロータリークラブの会員が500ドルをさらに追加。同クラブはさらに、インド(ゴア州)のチャビーチークス・スプリングバレー・インターアクトクラブとのオンラインでの「姉妹提携」を通じて活動に立つ情報を交換しました。同クラブのアドバイザーであるブライアン・フルブさんは、「学生たちはネットワークを広げ、組織的に活動しています。それに地域社会が寄付で応えてくれます」と話します。

### 英 国



2021年10月、ウェストサセックスのフェルファム・コミュニティカレッジの職員と学生は、グレート・ブリテンおよびアイルランド内 RI (RIBI) で毎年行われている Purple4Polio キャンペーンの一環として、ボグナーリージス・ロータリークラブの提供による4,000本以上のクロッカスを植えました。2月にクロッカスが開花の時期を迎えると、同大学はエコロジークラブや他のグループの学生を招いてお茶会を開きました。「学業のほかにもこうして懸命に活動してくれた学生たちへの感謝のしるしとして、お茶会では温かい飲み物や自家製の甘いお菓子を振舞って、クロッカスの開花をお祝いしました」と、教頭のみシェル・ケリーさんは言います。ボグナーリージス・ロータリークラブと同大学は、10年以上にわたってこのプロジェクトで提携しています。

マイロータリーより